

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	14	課題区分	C	令和7年3月14日	
横断的な課題		地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組						
地域重点政策		地域ブランドを活かしたゆたかな暮らしと移住への取組					松本地域振興局	
実施機関		松本地域振興局			担当課	所属	林務課	
事業名		脱炭素社会に向けた地元木材製品等普及拡大事業				電話	0263-40-1928(直通)	
						E-mail	matsuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	・木工製品の生産者が多い松本地域から、生活用品等を人工素材から木質素材への代替を進めるウッドチェンジを広げる ことにより、地域の脱炭素化及び県産材製品の需要拡大に取り組み、2050ゼロカーボンの実現を促進する。 ・木材関連イベントに出展し、都会の一般消費者や商社とつながることにより、松本地域の木工製品の普及促進や販路拡大を図る。						
	現状と課題	・松本地域における素材(木材)は、カラマツやアカマツ等の間伐及び主伐により年間およそ約5万7千㎡(R4木材流通調査)の生産があり、この利用促進として、暮らしに木材を取り入れ、生活用品等を人工素材から木質素材への代替を進める ウッドチェンジを推進することで、地域の脱炭素化及び県産材製品の需要拡大に取り組み、2050ゼロカーボンの実現を促進 する必要がある。 ・松本地域は、木工製品生産者は多いものの、その販路開拓は各生産者が行っている場合が多い。県内ギャラリーでの展 示やイベントへ個々での出展はあるものの、依然県内外に向けた販路拡大には課題が残る。 ・そこで、木工製品の販路拡大に向けた取り組みを令和3年度から行っている。令和3年度は木工製品等の展示を管内8 施設で行い、ホームページ上で紹介を行った。令和4年度は、新たに管内の木工製作者が生産される木工製品等を集約し たパンフレット等を作成し、管内の市村等へ配布し、脱炭素化・木材利用の促進に向けた県産材の木工製品導入について の普及活動を行った。令和5年度は、木工製品を東京都主催の「WOODコレクション2024」で展示し、松本管内の木工製 作者の製品と技術を都会へ売り込み、35社の商談に繋がっている。 ・今年度は、一般消費者に向けた普及促進にも力を入れるため、消費者を対象としたイベントにも参加する。						
	内容 (変更後の内容)	・「WOODコレクション2024」への参加と共に、BtoC、Business to Consumer(消費者)をコンセプトにした「Re WOOD」に 3者が参加した(8月16～17日)。WOODコレクション2024Plus(BtoB)には、松本管内の6者が参加予定である。 ・Re WOODでは直接販売、WOODコレクション2024Plusでは対面での商談や商品アピールを行うことで、木工製品を通じ て暮らしに木材を取り入れるきっかけを作り、木材製品の販路拡大につなげる他、都会の消費者や商談先から直接意見を 聞くことにより、新たな商品開発につなげる。 ・振興局では、後方支援として、開催日までの取りまとめ及び調整、当日はパンフレットの配布を通じて来場者の出展者 ブースへの呼び込みを行い、出展者をサポートする。 【概要】「JAPAN Re WOOD」(BtoC) ・日時及び場所:令和6年8月17・18日 東京ビックサイト ・ターゲット:来場者(消費者)及び他の出展者(2023年は来場者6000人のうち約8割が一般消費者) ・実施内容:松本管内の木工製品生産者3者の出展 【概要】「モクコレWOODコレクション2024Plus」(木材製品展示商談会) ・日時及び場所:令和6年12月19・20日 東京ビックサイトで開催 ・ターゲット:来場者(他の出展者及び商談者) ・実施内容:松本管内の木工製品生産者6者の出展 ・その他:情報発信は振興局ブログで行うとともに、パンフレット(リニューアル版)配布により地域への普及活動を行う。						
	事業期間	令和6年7月 ～ 令和7年2月						
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等		実施内容	実績額	備考			
	地域木工製品等普及拡大事業		地域の木工製品の展示 (JAPAN ReWOOD)	127,530	【旅費】 2名×2日=54,000円(8/16～18 2泊) 【需用費】 県産材木製品等の展示 展示用品(養生テープ・パネル・布等) 7,530円 ノベルティ配布 @440円×150部=66,000円			
	地域木工製品等普及拡大事業		地域の木工製品の展示 (モクコレ2024Plus)	264,670	【需用費】 配布用パンフレット作成 400部(内容編集込み) 86,680円 【使用料及び賃借料】 会場使用料 20,000円×7ブース=140,000円 備品レンタル料(展示用机、防災白布等) 25,850円 高送料金(松本IC～会場IC)往復 12,140円			
合 計			392,200					
指標及び達成状況	成 果 指 標			目標値	成果	達 成 状 況		
	木工製品展示会場への来場者数(主催者発表)			6,500人	15,830人	○ 達 成		
	出展ブースでの木工製品紹介者数(2イベント)			400人	360人	● 一部達成		
	出展商品売り上げ数(JAPAN Re WOOD)			100個	60個	○ 未 達 成		
事業成果実績	Re WOOD初日は前日に台風が関東地方直近を通過した影響で、来場者の出足が遅かったため、売り上げ数 が伸びなかった。(出展者への聞き取りによる) 木工製品展示会場への来場者数は、2展示会において計画通り出展したため、目標値に対し、大幅に上回っ た。							
今後の方向性	地域振興推進費を活用した展示会に2回出展することにより、地域木工製品の県外へのPRを行う ことが出来た。今後は、松本地域材のさらに活用する方法について、意見交換会等を開催し引き続 き検討していく。							